

シンウォール耐震工法 建築技術性能証明書取得

リーテック、太平洋マテリアル、クオリア設計、山陽建設サービスの4社は、既存建築物の高強度薄型増打ち補強工法を共同で開発し、「建築技術性能証明書」(日本建築総合試験所発行)を取得。「從来での施工工程を減らし小スペースでの施工を可能にする。同技術は、既存建築物の耐震補強に適用する既存壁の増し打ちによる補強工法で、特徴は「100mm以上の既存壁にプレミックスタイルの高強度グラウトコンクリート



(50 N/mm²) を圧送充填し、従来よりも壁厚が薄い増打ち壁を構築する事で、工期短縮が図れ、また充填材の現場練り施工により、コンクリートポンプ車等の大型車両の設置が困難な建物の補強工事への対応が可能となる。

本工法の運営団体であるシンウォール耐震工法協会の会長(リーテック、南代表取締役)は「本工法が第3者に認められた事で、これまで補強困難であったケースへの採用に意欲を示しており、今後は、本工法による耐震補強を推進する事で社会に貢献したい」と抱負を語った。